

## 施策評価調書(25年度実績)

施策コード Ⅲ-3-(1)

政策体系	施策名	NPO(NPO法人・ボランティア団体・市民活動団体等)の育成	所管部局名	生活環境部	長期総合計画頁	131
	政策名	多様な県民活動の推進	関係部局名	生活環境部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	NPO法人の設立支援	NPO・ボランティアの育成・活動支援	NPO・ボランティアの情報発信の支援、ネットワークの強化

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		25年度			26年度	27年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	NPO法人数(法人)	①	H16 201	481	495	102.9%	490	500						
ii	ボランティア登録者数(人)	②	H20 109,291	134,000	147,486	110.1%	140,000	146,000						
iii	おおいたNPO情報バンクの登録団体数(件)	③	H22 397	520	761	146.3%	560	600						

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等			平均評価
i	達成	NPO法人数は24年度末に比較し、1法人増加。25年度末の法人数も目標値を14法人上回っている。		達成
ii	達成	「おおいたボランティア・NPOセンター」と「大分県ボランティア・市民活動センター」が連携を深めた結果、24年度と比較し、約10,000人の増加が見られた。		
iii	達成	24年度と同等の登録団体数で推移している。		

#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・おおいたボランティア・NPOセンターでの設立相談や出張相談室なども活用して、NPO法人の設立支援をおこなった。
②	・九州北部豪雨災害の反省を踏まえ、市町村災害ボランティアネットワーク会議で議論し、全市町村に「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」が完成し、災害ボランティアの活動支援体制が構築できた。
③	・平成26年3月に、佐伯市に「佐伯市災害ボランティアネットワーク協議会」が市町村ではじめて発足した。ボランティアの受け入れを円滑におこなうための議論の場が整った。

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(25年度事業)	事業コスト(千円)	26年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	NPO総合支援体制強化事業	21,967	継続	110
②	福祉ボランティア活動活性化事業	16,673	継続	78
	福祉ボランティア・市民活動推進事業	9,176	継続	79

#### 【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

○第1回大分県協働推進会議(H25.9.3) ・ボランティアの活動支援は様々なところやっているが、ボランティアを受けたいという要支援者のニーズ調査が不足している。市町村がボランティアニーズを把握して、それを要支援者と結びつける仕組みを作っていく必要がある。	○第2回大分県協働推進会議(H26.2.12) ・災害ボランティアのネットワーク組織を市町村単位で構築する動きが出てきている。災害ボランティアセンターが立ち上がったときは、地域内の専門性をもったボランティアがセンター運営や活動を支えてくれる。平時から市町村単位で、専門ボランティアが、自分たちのできることや役割分担について、いろいろ情報交換をしながら、いざ災害のときに連携していくことは大変重要である。
---	--

#### 【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	・災害ボランティアセンター運営支援事業の実施などを通じ、県ボランティア・市民活動センターとの連携を深める。 ・大分県版市民ファンド「めじろん共創応援基金」と連携し、NPOの運営基盤強化にさらに取組む。